

審議会委員ご意見【特に重要な分野・施策】 分野番号順 ※修正

	委員名	該当番号	ご意見
1	原 徹	1	行政機能の集約化だけでなく多職種も連携しやすい新たな基盤を整備構築することが必要
2	杉井 繁樹	1・2	鏡ヶ浦ピア構想 (棧橋:大きく伸ばす+商業施設:アミューズメント+海上交通:東京・伊豆定期便)
3	高橋 實	2	
4	小金 晴男	2	・自然の豊かな恵みを大切に、観光と食、おもてなしによる経済の基盤づくり ・豊かな観光の創出づくり ・いつでも訪れたいくなる魅力的な観光地づくり
5	望月 昇	2	生活の基となる産業・経済を市民相互で育みあうことを念頭に置き、首都圏他地域にも発信するよう、努力します。そして、誰でも居住したくなるような館山市を目指します。
6	森 正一	2	①若者の働く場づくり ・官民共同出資による一次産業の法人化(基本的に民営) ・一次産業の活性化 ・起業支援 ②子育て真っ最中のお母さんが安心して働ける環境づくり ③働くことのできる高齢者が活躍できる環境づくり
7	田中 真由	2	●“何かを始める”を支援する(起業支援補助金はあまり知られていない) ●誰もが利用できる、館山の資産(人、産業)一覧づくり 館山がどのような資産(人、産業)を持っているのか、一般レベルで知ることのできるポータルサイトやデータベースなどを作成。団体(学校含む)、個人が、イベントなど何かしようと思った時にまずはこれを利用するよう推奨、周知徹底する。そうすることが自然と「環境・自然」や「行政運営・市民参加」につながるのでは。
8	田中 真由	2	●UIJターン促進施策にもっと労力及び予算を割く 今いる高校生を引き留めるのではなく、大学卒業した後の社会に出ていない若者を呼び戻すのではなく、社会であらゆる技術を身に着けた生産年齢人口の人たちを呼び込むことに注力する。また、方法や実行自体をどんどん民間委託することで「市民参加」につなげられるのでは。
9	田中 真由	2	●企業のサテライトオフィス誘致(企業そのものの誘致ではない)
10	溝口 かおり	2	環境保全と雇用創出を兼ねた、第一次産業の推進
11	小金 晴男	3	・観光の一貫した教育 ・観光の関連学部の充実
12	半澤 美緒子	3	市民が連帯した文化活動推進により、地域の活性化を図る(地元ゆかりの文化・芸能ほか芸術イベントなど) 地域の人々の豊かな心を育み人材育成につなげる
13	原 徹	3	教育文化面で館山から様々な発信ができるよう、教育面での充実が期待される。物質や金銭に囚われず、小児期から豊かな感性を育む機会を増やすこと。

14	田中 真由	3	●館山のリアルな魅力を知るための講座やワークを行う 【小中学生向け】 館山を支える産業に就いている若者の話を聴く:特に第一次産業の若い者の話。データでは第三次産業が7割だったが、第一次産業を抜きに館山は語れない。また、スピーカーとして話をしてもらうことで、彼らも自分の仕事に誇りを持てるようになると考えられるので、インナーモチベーション向上にもつながる。
15	田中 真由	3	●館山のリアルな魅力を知るための講座やワークを行う 【高校生向け】 働く世代の移住者の話を聴く:移住者は、館山が魅力的だから移住に踏み切っている。館山で生まれ育っていない人から魅力を聴くことで発見につなげる。
16	田中 真由	3	●館山のリアルな魅力を知るための講座やワークを行う 【高校生向け】 フィールドワークを行う年間プログラムの開発:館山にはどんな仕事があってどんな人がそこで働いているかを調べることから始め、そこにどう関わり何を生み出せるか考え、サービス開発や商品開発までの道筋を立てる。プレゼンまで行い、生徒たちによる投票及び外部審査によって選ばれたアイデアを実現するところまで。特定のサービスや商品の開発ありきではなく、フィールドワークをとおして試行錯誤して見つけていく。館山にどんな仕事があるのかを知り、地域と関わっていく機会が持てる一方で、館山にない職種を知ったりない部分を自分が担ったり身に着けるにはどうしたらいいかを考えることにもなるため、キャリア教育の側面も持たせることができる。
17	田中 真由	3	●大学のキャンパス誘致(大学そのものの誘致ではない)
18	溝口 かおり	3	豊かな自然環境を活かした小規模ならではのきめ細やかな教育・子育ての推進
19	半澤 美緒子	4	自然環境・立地を生かし魅力あるまちづくり (子育て世代が安心して住める環境整備・移住者支援など)人口の増加につなげ、活力あるまち
20	古橋 博子	4	人の手では創ることのできない自然環境は館山の歴史を刻み、農業・漁業・観光を創り出してきました。それらを財産として、大切に次世代に継承
21	石井 敏宏	5	医療が比較的恵まれている特性を生かし、高齢者・障がい者の住みやすいまちをつくる。また、高齢者や障がい者が観光に来たくなる環境をつくる。(モデルのまちは岐阜県高山市)
22	須田 敏男	4	
23	鈴木 正弘	5	元気で育まれる福祉・保健 安心して頼れる地域の絆 絆を大切に交流ある地域にする
24	高橋 實	5	
25	吉田 南子	5	
26	望月 昇	6	自然災害に対して、人事を尽くし、市内どこで被災しても命を守ることを前提とします。また、日常的に市民の生命、財産を守るため、官民一体となり、安全・安心を遵守します
27	森 正一	6	①巨大地震、大津波対策 ・公立学校の早期耐震化の完了(避難所の整備) ・避難道路の整備、老朽危険空き家対策、津波避難タワーの整備、など ②地域格差の是正 ・公的サービスの受けやすさ、通院や買い物などのしやすさ、など

28	石井 誠	6	産業・経済の活性化は重要であるが、首都圏で働き、リタイア後は住んでみたい、安全で安心感が得られるまちづくりを目指す。
29	須田 敏男	6	
30	石井 敏宏	7	一般市民同士が市政の課題・地域の課題を議論し、議会行政はその議論の経過と結果を尊重し、まちづくりを共に行ってゆく。(モデルのまちは北海道ニセコ町及び栗山町)
31	吉田 南子	7	
32	古橋 博子	7	一人ひとりのもつ“力”を他者のために、互いに活かしかう地域が、安全・安心につながる